

D-01 絵言葉で話そう

講師/則武輝彦 (ノリタケテルヒコ)

コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ヴィジュアルデザイン
コース 准教授

科目/デザイン実技、視覚デザイン論Ⅰ 他

可能日/要相談

形式/実技・ワークショップ

【講義内容】

普段私たちは、当たり前のように文字や言葉を使いコミュニケーションをしますが、突然その文字や言葉がなくなったら、どのようなコミュニケーションが生まれるのでしょうか。みなさんには、文字や言葉を使わず絵文字で会話をしてもらいます。その体験から言葉や文字のなりたちについて考えてみましょう。



■必要機器/プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード

■受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし

■受講される方にひとこと/3-4人のグループを作り、ゲーム形式で遊びながら学べます。

D-02 見ることの不思議

講師/則武輝彦 (ノリタケテルヒコ)

コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ヴィジュアルデザイン
コース 准教授

科目/デザイン実技、視覚デザイン論Ⅰ 他

可能日/要相談

形式/実技・ワークショップ

【講義内容】

身近なものや身体を活用して、短時間でのクロッキーや線描きによるドローイングのワークショップを45分~90分程度行います。また時間によってはドローイングに関する事前の講義も可能です。

■必要機器/プロジェクター、スクリーン

■受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし

■受講される方にひとこと/視覚効果をデザイナーがどのように利用しているのか実例とともに解説します。

D-03 イラストレーションと線の関係

講師/佐久間友香 (サクマユウカ)

コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 イラストレーションコース
講師

科目/デザイン実技、イラストレーション 他

可能日/要相談

形式/実技・ワークショップ

【講義内容】

魅力あるイラストレーションを構成する要素はいくつもありますが、線もその要素のひとつです。ディックブルーナの作品の線画模写を通じて、魅力ある線について学びます。

■必要機器/プロジェクター

■受講者に事前に準備していただきたい内容/ケント紙、水彩絵の具道具一式

■受講される方にひとこと/イラストにおける線の重要性を体験してみてください。

D-04 2枚の写真で表現するインタラクティブな人物写真をつくってみよう

講師/竹内創 (タケウチハジメ)

コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 先端メディア表現コース 教授

科目/デザイン実技、デザイン概論、映像演習、デザイン実技Ⅲ、
デザイン実技Ⅳ、デザイン実技Ⅱ-4、デザイン実技Ⅰ(F1)

可能日/水曜日

形式/実技・ワークショップ

【講義内容】

自分自身をモチーフにセルフポートレート写真を撮影し、受け手が楽しめるインタラクティブなコンテンツを制作します。

■必要機器/i Pad、プロジェクターもしくは大型モニター (要相談)

■受講者に事前に準備していただきたい内容/筆記用具

■受講される方にひとこと/受け手の立場から、発信する立場で表現することを考えてみましょう。

D-05 ストップモーション・アニメーションを作ろう

講師/臼井拓朗 (ウスイタクロウ)

コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ファンデーション/メディア
コミュニケーションデザインコース 准教授

科目/デザイン実技・デザイン演習 他

可能日/要相談

形式/実技・ワークショップ

【講義内容】

映像表現の基礎から編集までをグループで協力しながら体験し、日頃から目にしてる映像の仕組みを理解します。15分ほどの事前講義を行った上で制作することも可能です。

■必要機器/プロジェクタ用スクリーン ■受講者に事前に準備していただきたい内容/筆記用具

■受講される方にひとこと/表現することを考えるきっかけになればと思います。

D-06 デザインの魅力

講師/萩原周 (ハギハラマコト)

コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ライフスタイルデザイン
コース 教授

科目/デザイン実技Ⅱ、デザイン演習Ⅱ、卒業研究

可能日/月、土曜日

形式/講義

【講義内容】

デザインについての理解を深めるための90分程度の講義。デザインとアートの差異や、近現代までのデザインが歩んだ歴史的な経緯を画像を紹介しながらわかりやすく解説します。

■必要機器/液晶プロジェクター、投影用スクリーン ■受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし

■受講される方にひとこと/やや一般向けの内容ですが、デザインの辿ってきた大凡の道のりが優しく理解できるようにお話しします。



D-07 デザインの「デ」の字



講師/萩原 周 (ハギハラマコト)
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ライフスタイルデザイン
 コース 教授
 科目/デザイン実技II、デザイン演習II、卒業研究
 可能日/月、土曜日
 形式/講義

【講義内容】
 デザインの基本的な考え方(視点)を知る上でもっとも大切なことの一つとなる「多角的なものの見方」について、身近な道具の中からカッターナイフを例にとって解説します。

■必要機器/液晶プロジェクター、投影用スクリーン ■受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし
 ■受講される方にひとこと/デザインされたモノが、どんなに小さくてもその色やかたち、重さ、材質などが全て意図されてつくられていることがわかったら、見慣れた世界がまた新鮮に映るはずですよ。

D-08 インテリアデザイン



講師/駒井 貞治 (コマイ サダハル)
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 スペースデザインコース
 教授 デザイン領域主任
 科目/デザイン実技(建築、インテリア) 他
 可能日/要相談
 形式/講義

【講義内容】
 インテリアデザインの基礎である、人が集まってそこでいろいろなことが起こるシーンを想像するというところを、簡単な模型を作りながら、アイデアの出し方、広げていき方、表現の仕方を学んでいきます。

■必要機器/プロジェクター、模型などの制作環境 ■受講者に事前に準備していただきたい内容/自分の好きなお店や場所、そこで起こる事について想像を膨らませておいて下さい。 ■受講される方にひとこと/普段自分たちが生活している事全てが対象です。より豊かに、楽しく生活するとは?というような事を一緒に考えてみましょう。

D-09 デザインプロセス



講師/駒井 貞治 (コマイ サダハル)
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 スペースデザインコース
 教授 デザイン領域主任
 科目/デザイン実技(建築、インテリア) 他
 可能日/要相談
 形式/講義

【講義内容】
 身の回りのものを、デザインするには、発明的な発想やひらめきが必要です。プロセスを踏んで過去の事例を参考に発想し、展開し、検討を重ねていく事でそれらを導きだしていく手法を学びます。

■必要機器/プロジェクター ■受講者に事前に準備していただきたい内容/自分の身の回りのものについて、お気に入りのいい事や、ちょっと困っている事について、いつもより深く観察してみてください。 ■受講される方にひとこと/普段自分たちが生活している事全てが対象です。より豊かに、楽しく生活するとは?というような事を一緒に考えてみましょう。

D-10 プロダクトデザイン



講師/後藤 規文 (ゴトウ ノリフミ)
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域
 インダストリアル&セラミックデザインコース 教授
 科目/プロダクトデザイン、デザインプランニング
 可能日/月、金曜日
 形式/講義

【講義内容】
 プロダクトデザイナーの役割について、具体的な事例を交えながら紹介し、ものづくりにデザインが必要とされる理由を解説しながら、プロダクトデザインの基礎について学びます。

■必要機器/液晶プロジェクター
 ■受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし
 ■受講される方にひとこと/「カッコいい形」だけがデザインではありません。

D-11 カーデザイン



講師/片岡 祐司 (カタオカ コウジ)
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 カーデザインコース 教授
 科目/デザイン実技 他
 可能日/水曜日
 形式/講義

【講義内容】
 カーデザイナーの仕事とはどのようなものなのでしょう。実際の現場の様子を交え、その内容を解説します。併せてカーデザイナーを目指す学生へのアドバイスを行います。

■必要機器/特になし
 ■受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし
 ■受講される方にひとこと/自動車はこれから大きく変わる業界で、とても面白く楽しい仕事があります。

D-12 平面から立体へ



講師/米山 和子 (コネヤマ ヨリコ)
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 メタル&ジュエリーデザイン
 コース 教授
 科目/デザイン実技 他
 可能日/月曜日
 形式/実技、ワークショップ

【講義内容】
 基礎造形における視覚的効果を得る方法(構成の概念)は3次元のものを作る時にも応用できます。普段身近にある紙を切る、折る、曲げる事で立体を作り、空間を意識してバランス感覚のコツを体感しましょう。

■必要機器/プロジェクター、紙工作等の作業環境
 ■受講者に事前に準備していただきたい内容/ハサミ、カッター、カッターマット、A4コピー用紙5~10枚
 ■受講される方にひとこと/立体や空間のセンスは誰でも伸ばす事が出来ます。

D-13 メダルアートの世界



講師／瀬田 哲司 (セタ テツジ)
 コース／芸術学部 芸術学科 デザイン領域 メタル&ジュエリーコース 准教授
 科目／铸造初級、金属技法材料
 可能日／月曜日
 形式／実物と資料による講義(持参するメダルは触っても良い)

【講義内容】

欧州の伝統芸術である「メダル」は手のひらサイズの立体造形として「メダルアート」に発展しています。メダルアートの国際的な賞を受賞し海外作家との交流も豊富な講師がメダルアートの最前線を紹介します。

- 必要機器／特になし
- 受講者に事前に準備していただきたい内容／特になし
- 受講される方にひとこと／特になし

D-14 テキスタイルデザイン・ハンドプリント



講師／扇 千花 (オオギチカ)
 コース／芸術学部 芸術学科 デザイン領域 テキスタイルデザインコース 教授
 科目／デザイン実技 他
 可能日／水曜日
 形式／講義

【講義内容】

プリントは、絵柄を繰り返すことによって、布に模様を付ける方法です。模様のリピートをポテトプリントで学びます。

- 必要機器／机、流し
- 受講者に事前に準備していただきたい内容／筆記道具、彫刻刀、絵の具、じゃがいも1個
- 受講される方にひとこと／テキスタイルデザインは布のデザインです。布は生活の中でなくてはならないものです。大きな布を部屋に掛けると瞬時に空間の印象が変わり、柔らかな布を身につけると安らかな気持ちになれるというように、テキスタイルは人の心に働きかけるデザインです。

D-15 ムードボードをつくる



講師／貝塚 惇観 (カイツカアツミ)
 コース／芸術学部 芸術学科 デザイン領域 テキスタイルデザインコース 講師
 科目／デザイン実技、基礎演習A、他
 可能日／月曜日、木曜日
 形式／実技・ワークショップ

【講義内容】

ムードボードとは、自分の頭の中のイメージを他者に伝えるために、テキスタイルデザインの現場で頻繁に用いられる手法です。自分の中のイメージをアウトプットし、他の人と共有することが出来ます。

- 必要機器／大型液晶モニター又はスクリーン、紙工作用のハサミとのり
- 受講者に事前に準備していただきたい内容／雑誌の切り抜きや写真、布や小物など、自分が好きだと思った画像やアイテムを集めてきてください。
- 受講される方にひとこと／ムードボードをつくることで、自分が一体何に興味があるのかを一緒に発見していきましょう。

D-16 絵画ヘラブレター



講師／村田 仁 (ムラタジン)
 コース／芸術学部 芸術学科 デザイン領域 文芸・ライティングコース 准教授
 科目／デザイン基礎演習E、文芸実技1-I(小説創作) 絵本、児童文学制作、現代詩制作
 可能日／(前期)水・木・金曜日 (後期)火・水・木曜日
 形式／実技・ワークショップ

【講義内容】

好きな絵画作品に向けて、ラブレターとしての詩を綴るワークショップ。絵画から受ける「色」「物語」「私との関係」などを書き出し、詩作を行う。参加者が絵画に向けて詩を読む朗読会を最後に行ない、完成とします。

- 必要機器／プロジェクター、パソコン、スキャナー、デジカメ、マイク、音響機器、便箋
- 受講者に事前に準備していただきたい内容／好きな絵画作品の画集、筆記具
- 受講される方にひとこと／画家ではなく、絵画へ綴るかたちで、知識ではなく感覚を言葉にしていって創造の楽しさを目的としたワークショップです。

D-17 図書館の森で迷子を楽しむ



講師／村田 仁 (ムラタジン)
 コース／芸術学部 芸術学科 デザイン領域 文芸・ライティングコース 准教授
 科目／デザイン基礎演習E、文芸実技1-I(小説創作) 絵本、児童文学制作、現代詩制作
 可能日／(前期)水・木・金曜日 (後期)火・水・木曜日
 形式／実技・ワークショップ

【講義内容】

学校の図書館を舞台に行う詩作ワークショップ。ルーレットで当たったジャンルの本棚に行くなど、普段は会うことのない本に会う機会をつくり、言葉を引用し詩作します。最後は参加者が本を紹介しあい、詩を読みます。

- 必要機器／マイク、音響機器
- 受講者に事前に準備していただきたい内容／特になし
- 受講される方にひとこと／検索で情報にすぐたどり着くことができる現代ですが、迷子を経ることのできないものもあるのではないのでしょうか。図書館は迷うことを許してくれる豊かさをもっているはず。詩作にある豊かさも、それと重なるものです。

D-18 作ることで考える



講師／加藤 良将 (カトウヨシマサ)
 コース／芸術学部 芸術学科 デザイン領域 先端メディア表現コース 講師
 科目／コンピュータ表現基礎、情報メディア論、デザイン実技 他
 可能日／火曜日
 形式／実技・ワークショップ

【講義内容】

iPadと接続してセンサーやモーターなどのプログラミングにより制御できる機器を使い、世の中のものがどのように作られているのか、さらに便利に発展させるためにはどのような工夫ができるかを考え、実際に動くものを作り理解を深めます。

- 必要機器／プロジェクター、スクリーン
- 受講者に事前に準備していただきたい内容／特になし
- 受講される方にひとこと／世の中の便利なものがどのような意図を持ってデザインされているか、周りのものをよく観察するように生活してみてください。

D-19 デザインで伝える「世界の見かた」



講師/小粥 千寿 (オガイチズ)

コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ライフスタイルデザインコース/
メディアコミュニケーションデザインコース 准教授

科目/デザイン実技・デザイン演習・卒業制作

可能日/月曜日、土曜日

形式/講義

【講義内容】

1つの物事でも、視点や編集の仕方によって、異なるストーリーを伝えることができます。デザインを使ったビジュアル表現による多様な「世界の見かた」を、国内外の事例とともに紹介します。

■必要機器/プロジェクター ■受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし

■受講される方にひとこと/デザインが、複雑・多様化する世界を理解し、より良い社会を作っていくための道具となることを知ってもらえればと思います。

D-20 写真を再構成する



講師/田中 翔貴 (タナカショウキ)

コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 デザインファンデーション 講師

科目/デザイン実技I、アートプロジェクト2、写真演習(MCD)、
デザイン実技II-3(MCD)

可能日/要相談

形式/実技・ワークショップ

【講義内容】

写真はスマートフォンの普及により誰でも撮影できる身近なメディアとなっていますが、「撮る」だけでなく「見る」ことから新しい視点生まれます。プリントされた写真を観察し読み取ったことから再構成、カラージュした独自の視点を作ってみましょう。

■必要機器/プロジェクターもしくは大型モニター

■受講者に事前に準備していただきたい内容/カッター、カッターマット、ハサミ、両面テープ

■受講される方にひとこと/写真の見方、見え方を考えて自分の視点を形にしてみよう。